

**競 技 注 意 事 項**

1 競技規則について

本記録会に適用する規則は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会規定により行う。  
 ただし、スタートにおける不適切行為〔§162-5〕については、イエローカードを示し警告を与える。なお、累積2枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とするが、それ以後のすべての種目からは除外しない。

2 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは、サブトラックを使用すること。
- (2) フィールド種目の練習は、招集完了後に競技役員の指示により競技場内で行う。
- (3) サブトラックでの投てき練習は、一切禁止する。

3 招集について

- (1) 招集所は、雨天練習場に設ける。
- (2) 種目別招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載している。
- (3) 招集の手順
  - ①招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。  
 その際、ナンバーカード・スパイクピンの長さ（走高跳・やり投 12mm以内、その他 9mm以内）の点検を受け、腰ナンバーを受け取る。
  - ②点呼の代理人は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届を提出し、併せて招集に来ることが出来ない種目の点呼（ナンバーカード・腰ナンバーカード・スパイク等の検査）を受けておくこと。その場合に限り、代理人の点呼を認める。
  - ③招集完了時刻に遅れた競技者は、出場出来ない。
  - ④当該種目を欠場する者は、あらかじめ棄権届を競技者係に提出すること。  
 \* 多種目同時出場届、欠場届は、招集所備え付け、またはホームページからプリントアウトした用紙を使用すること。

4 競技について

- (1) トラック競技
  - ①レーンは、プログラム記載番号順とする。
  - ②競技運営上、男子 1500m=6分、5000m=20分、3000mSC=13分。女子 1500m=7分、3000m=15分で競技を打ち切る場合がある。
- (2) 腰ナンバー・別ナンバーは、競技終了後フィニッシュ地点のナンバーカード係に返却すること。
- (3) フィールド競技
  - ①試技順は、プログラム記載番号順とする。
  - ②走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。

男子走高跳	1組	練習 1.25 / 1.50	1.30-1.35-1.40・・・1.85-1.88-1.91	以後3cmずつ
	2組	練習 1.60 / 1.80	1.65-1.70-1.75・・・1.85-1.88-1.91	以後3cmずつ
女子走高跳	1組	練習 1.10 / 1.30	1.15-1.20-1.25・・・1.55-1.58-1.61	以後3cmずつ
	2組	練習 1.35 / 1.55	1.40-1.45-1.50・・・1.55-1.58-1.61	以後3cmずつ
男子棒高跳	練習 2.00~4.80		2.20-2.40-2.60・・・3.00-3.10-3.20	以後10cmずつ
女子棒高跳	練習 2.00~3.80		2.20-2.40-2.60-2.80-2.90-3.00-3.10	以後10cmずつ

5 競技用具について

- (1) やり・ポール以外は、主催者が用意したものを使用すること。
- (2) やりは検査を受けて使用できる。この場合共用となる。  
 検査時刻 女子=第1日(13日) 1組- 8:30~8:50 2組- 10:30~10:50  
 男子=第1日(13日) 1組- 12:30~12:50 2組- 14:30~14:50  
 検査場所 フィニッシュ地点側器具庫
- (3) 棒高跳用ポールは、跳躍審判員の点検を受け自己のポールを使用する。

6 その他

- (1) 記録証明書を希望する者は、1種目につき500円を添えて庶務係まで申し出ること。
- (2) ゴミは、各自で持ち帰るようにご協力ください。